

# 平成 29 年度全国学力・学習状況調査の結果について（お知らせ）

平成 29 年度全国学力・学習状況調査の結果については、児童生徒が身に付けるべき学力の特定の一部であることなどに留意して分析を進め、このたび、名寄市小・中学校の児童生徒の学力や学習状況の傾向をまとめることができました。

つきましては、明らかになった課題を克服し、さらに児童生徒の学習改善や学習意欲の向上を図るために、学力や学習状況の傾向及び指導の改善策などについてお知らせいたしますので、皆様のご理解とご協力をいただきますようお願い申し上げます。

## 1 小学校の教科に関する調査結果の概要について

※「全国」とは全国の平均正答率のことです。

□・漢数字・( )・記号は設問番号を示しており、調査問題は国立教育政策研究所のホームページで見ることができます。

また、改善策の例については、国立教育政策研究所の解説資料から一部を抜粋して掲載しています。

### **国語 A** ～ 基礎的・基本的な知識・技能が身に付いているかどうかをみる問題

#### <全国と比べて成果が見られた設問>

- 1 互いの話を聞き、考えの共通点や相違点を整理しながら、進行に沿って話し合うことができるかどうかをみる。  
〔設問の概要〕  
学級文集のタイトルを決める話合いにおける報告の説明として適切なものを選択する。
- 2一 目的や意図に応じ、内容の中心を明確にして、詳しく書くことができるかどうかをみる。  
〔設問の概要〕  
お礼の気持ちを伝えるために、どのような内容を書いているのか、書かれている内容の説明として適切なものを選択する。
- 7 学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく読んだり書いたりすることかできるかどうかをみる。  
〔設問の概要〕  
漢字を読む 「申しこみ期限」、「指示にしたがって」  
漢字を書く 「箱がおいてあります」

#### <全国と比べて課題が見られた設問>

- 2二 手紙の構成を理解し、後付けを書くことができるかどうかをみる。  
〔設問の概要〕  
手紙の後付けに必要な日付、署名、宛て名のそれぞれの位置について、適切なものを選択する。  
〔改善策の例〕  
表書きに宛て名や住所などを正しく書くことや、後付けにおける署名と宛て名の位置関係といった手紙の基本的な形式などについて指導する必要がある。その際、例えば、縦書きの手紙の場合、署名と宛て名の位置関係を押さえることにとどまらず、「宛て名を最終行の上の位置に書くことで相手への敬意を示すことにつながる」など、手紙の形式がもつ意味について指導することが大切である。

- 3 目的に応じて、文章の中から必要な情報を見つけて読むことができるかどうかをみる。  
 [設問の概要]  
 学校新聞を書くために、「時の記念日」についての資料から中心に読むとよい段落を選択する。  
 [改善策の例]  
 本問のように、調べる学習活動においては、読む目的によって、取り上げる中心となる語や文、段落は変化してくる。「何のために調べるのか」、「何について調べるのか」など、調べる目的や事柄を明確にした上で、本や文章を選び、その中の記述や説明から、課題を解決するために必要な情報を選択することが重要である。その際、本の題名や種類に着目し、目次や索引などを効果的に利用することができるように指導することが大切である。さらに、以前に読んだ本や文章と比べたり、自分のもっている知識や情報、現実などと結び付けたりして、自分の考えを深めることができるように指導することも大切である。

## 国語 B ～ 基礎的・基本的な知識・技能を活用することができるかどうかをみる問題

### <全国と比べて成果が見られた設問>

- 1一 動画を見る目的を捉えることを通して、目的や意図に応じ、適切な言葉遣いで話すことができるかどうかをみる。  
 [設問の概要]  
 スピーチの練習の様子を記録した動画を見る目的として、適切なものを選択する。
- 1三 目的や意図に応じて、話の構成や内容を工夫し、場に応じた適切な言葉遣いで自分の考えを話すことができるかどうかをみる。  
 [設問の概要]  
 折り紙のみりょくについて、スピーチメモとグループの話合いで出された意見を基に書く。
- 2三 目的や意図に応じ、必要な内容を整理して書くことができるかどうかをみる。  
 [設問の概要]  
 「水やりに協力してくれる人をぼ集めます」に書く内容を、中学生からの「アドバイス」を基に書く。
- 3二 自分の考えを広げたり深めたりするための発言の意図を捉えることができるかどうかをみる。  
 [設問の概要]  
 「きつねの写真」を読んだあとの話合いにおける発言の意図として、適切なものをそれぞれ選択する。

### <全国と比べて課題が見られた設問>

- 1二 話の構成を工夫して話すことができるなどのスピーチメモのよさを捉えることができるかどうかをみる。  
 [設問の概要]  
 グループの話合いの中で、「石田さん」たちはスピーチメモを使うことのよさについてどのように考えているかについて書く。  
 [改善策の例]  
 目的や意図に応じて、自分の考えが伝わるように話すためには、話の構成や内容を工夫し、場に応じた適切な言葉遣いで話すことができるようにする必要がある。話の構成や内容を工夫するためには、自分の立場を明確に説明したり、事実と感想、意見とを区別したり、結論付けを明確にしたりすることなどについて指導することが大切である。また、場に応じた適切な言葉遣いで話すためには、声量や速度、抑揚や間の取り方、改まった言葉や丁寧な言葉、敬体と常体との使い分けなど、その場に応じた最も適切な表現の仕方について指導することが大切である。

- 2一 目的や意図に応じて、文章全体の構成を考えることができるかどうかをみる。  
 [設問の概要]  
 「緑のカーテン作りへの協力のお願い」における文章の構成の工夫として当てはまるものを選択する。  
 [改善策の例]  
 自分の考えを明確に伝えるためには、目的や意図に応じて文章全体の構成の効果を考えて書くことが重要である。文章の種類や特徴を踏まえた上で、自分の考え及び相手の理解が明確になるように、文章の構成を工夫する必要がある。その際、それぞれの段落の内容としてどのようなことを書けばよいのかを考えたり、自分の考えを一貫して述べたりすることができるように指導することが大切である。
- 3一 登場人物の相互関係や心情、場面についての描写を捉えることができるかどうかをみる。  
 [設問の概要]  
 「きつねの写真」を読み、登場人物の相互関係と場面についての描写を捉え、当てはまる言葉として適切なものを選択する。  
 [改善策の例]  
 物語を読む際は、登場人物について、その相互関係を捉え、それらに基づいて心情や場面の描写を捉えることができるように指導することが必要である。中学年までは、一人一人の登場人物の行動や性格に基づき、場面の展開に即して変化する気持ちを中心に捉えていたが、さらに高学年では、登場人物の相互関係から人物像やその役割を捉え、そのことによって、内面にある深い心情も合わせて捉えることにつないでいくことが大切である。

## 算数 A ～ 基礎的・基本的な知識・技能が身に付いているかどうかをみる問題

### <全国と比べて成果が見られた設問>

- 1(2) 1より小さい小数をかける乗法の問題場面を理解し、数量の関係を数直線に表すことができるかどうかをみる。  
 [設問の概要]  
 買ったリボンの長さ、1 m当たりのリボンの値段と代金が、それぞれ数直線上のどこに当てはまるかを選ぶ。
- 2(3) 加法と乗法の混合した整数と小数の計算をすることができるかどうかをみる。  
 [設問の概要]  
 $6 + 0.5 \times 2$  を計算する。
- 2(4) 商を分数で表すことができるかどうかをみる。  
 [設問の概要]  
 $5 \div 9$  の商を分数で表す。
- 9(1) 資料を二次元表に分類整理することができるかどうかをみる。  
 [設問の概要]  
 出席番号1番の人は二次元表のどこに入るかを選ぶ。

### <全国と比べて課題が見られた設問>

- 1(3) 小数の乗法の計算において、乗数を整数に置き換えて考えるときの、乗法の性質を理解しているかどうかをみる。  
 [設問の概要]  
 $60 \times 0.4$  を、 $60 \times 4$  を基にして考えるときの正しい積の求め方を選ぶ。

〔改善策の例〕

小数の乗法の計算においては、小数の仕組みを確認し、乗法の性質を用いて計算の仕方を考えることができるようにすることが大切である。指導に当たっては、整数の乗法の計算の仕方において、乗数を10倍すると積も10倍になるという乗法の性質が成り立つことを確認しながら、小数の乗法を整数の乗法に置き換える活動が考えられる。

4 任意単位による測定について理解しているかどうかをみる。

〔設問の概要〕

重さ、長さについて任意単位による測定を基に比較しているものを選ぶ。

〔改善策の例〕

任意単位による測定には、身の回りにあるものの大きさを単位として数値化することにより、大きさの違いを明確に表して比べることができるというよさがある。指導に当たっては、児童が既習の比較や測定の方法を想起して、新たに学習する量の比較や測定に活用したり、異なる種類の量の比較や測定の方法について共通点を見いだしたりする活動が考えられる。

5 高さが等しい平行四辺形と三角形について、底辺と面積の関係を理解しているかどうかをみる。

〔設問の概要〕

示された平行四辺形の面積の半分の面積である三角形を正しく選ぶ。

〔改善策の例〕

二つの合同な三角形を合成してできた平行四辺形の面積を求めたり、平行四辺形を対角線で分割してできた二つの合同な三角形の面積を求めたりする活動が考えられる。その際、平行四辺形の面積を求める公式と三角形の面積を求める公式を比較し、その面積の関係を捉えることが大切である。

## **算数 B** ～ 基礎的・基本的な知識・技能を活用することができるかどうかをみる問題

### <全国と比べて成果が見られた設問>

1(1) 示された条件を基に、適切な式を立てることができるかどうかをみる。

〔設問の概要〕

カードの差が4の場合の2けたのひき算の式と答えを書く。

4(2) 割合を比較するという目的に適したグラフを選ぶことができるかどうかをみる。

〔設問の概要〕

学年全体の人数に対するハンカチとティッシュペーパーの両方を持ってきた人数の割合を表しているグラフを選ぶ。

5(1) 示された割合を解釈して、基準量と比較量の関係を表している図を判断できるかどうかをみる。

〔設問の概要〕

「最小の満月の直径」の図に対して、「最大の満月の直径」の割合を正しく表している図を選ぶ。

### <全国と比べて課題が見られた設問>

1(2) 示された考えを解釈し、数を変更した場合も同じ関係が成り立つことを、図に表現することができるかどうかをみる。

〔設問の概要〕

示された考えを基に、 $54 - 45$ の場合で残る部分を図に表す。

〔改善策の例〕

例えば、設問(2)を用いて、数を⑩と①を使った図に表す活動が考えられる。⑩と①の個数は同じであるため、ひき算で⑩どうし、①どうしが相殺され、「カードの差」の分だけ、⑩と①の組が残ること、残った⑩と①の組が9を表していることに気付くことができる。このような活動が、児童自らが図を用いて考察しようとする態度の育成につながると考えられる。

- 3 (1) 飛び離れた数値を除いた場合の平均を求める式を判断することができるかどうかをみる。

〔設問の概要〕

飛び離れた数値を除いた場合の平均を求める式を選ぶ。

〔改善策の例〕

例えば、通学路を歩くのにかかる時間を調べる場面で、飛び離れた数値がある場合にその数値を除いて平均を求め、その数値を除外した理由を説明する活動が考えられる。

- 3 (2) 仮の平均を用いた考えを解釈し、示された数値を基準とした場合の平均の求め方を記述できるかどうかをみる。

〔設問の概要〕

仮の平均の考えを活用して、測定値の平均を求める。

〔改善策の例〕

設問(2)の場面を用いて、仮の平均の考え方について、設定した基準と数値が表す意味を、グラフと式、言葉などを関連付けながら説明する活動が考えられる。

- 4 (1) 示された式の中の数の意味を、表と関連付けながら正しく解釈し、それを記述できるかどうかをみる。

〔設問の概要〕

示された式の中の数が表す意味を書き、その数が表のどこに入るかを選ぶ。

〔改善策の例〕

例えば、設問(1)で示されているハンカチ・ティッシュペーパーを持ってきた人数の表と、5年生のハンカチ・ティッシュペーパー調べの結果の二次元表の枠だけを示し、それぞれの項目に当てはまる数を考える活動が考えられる。

## 2 中学校の教科に関する調査結果の概要について

※「全国」とは全国の平均正答率のことです。

□・漢数字・( )・記号は設問番号を示しており、調査問題は国立教育政策研究所のホームページで見ることができます。

また、改善策の例については、国立教育政策研究所の解説資料から一部を抜粋して掲載しています。

### 国語A ～ 基礎的・基本的な知識・技能が身に付いているかどうかをみる問題

<全国と比べて成果が見られた設問>

- 5二 目的や意図に応じて材料を集め、自分の考えをまとめることができるかをみる。  
〔設問の概要〕  
「推薦者から」の欄に書き加える具体例に使う情報として適切なものを選択する。
- 8一 文章の表現の仕方について自分の考えをもつことができるかどうかをみる。  
〔設問の概要〕  
詩について説明したものとして適切なものを選択する。

9三オ 語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使うことができるかどうかをみる。  
〔設問の概要〕  
適切な語句を選択する。

9六1 楷書と行書との違いを理解しているかどうかをみる。  
〔設問の概要〕  
楷書と比較したときの行書の説明として適切なものを選択する。

9七2 古典には様々な種類の作品があることを知っているかどうかをみる。  
〔設問の概要〕  
「徒然草」の作品の種類として適切なものを選択する。

### <全国と比べて課題が見られた設問>

1 話し言葉と書き言葉との違いを理解しているかどうかをみる。  
〔設問の概要〕  
画面に示された字幕についての説明として適切なものを選択する。  
〔改善策の例〕  
実際の生活場面で、話し言葉と書き言葉とを適切に使えるように指導することが大切である。例えば、同じ内容を電話で伝える場合と手紙で伝える場合とでは、表現の仕方や伝わり方がどのように違うのか等について比較する学習活動が考えられる。

9三ア 語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使うことができるかどうかをみる。  
〔設問の概要〕  
適切な語句を選択する。  
〔改善策の例〕  
語感を磨き、語彙を豊かにするためには、辞書や資料集などを活用しながら、着目した言葉について複数の類義語で言い換えたり、ことわざや慣用語、故事成語などの表現に置き換えたりすることが大切である。

9六2 行書の特徴を理解しているかどうかをみる。  
〔設問の概要〕  
行書で書かれた「和」の特徴の組合せとして適切なものを選択する。  
〔改善策の例〕  
行書の基礎を学習する段階では、同じ文字の楷書と行書とを比較し、筆順や運筆などの違いについて理解するとともに、それらを生かして行書で書く学習活動が効果的である。また、学校生活において、メモやノート、会議録、掲示物などを書く際に、書く目的や必要に応じて書体を選んで書くなど意識的に書写の学習成果を生かすように指導することが重要である。

9七1 古文と現代語訳とを対応させて内容を捉えることができるかどうかをみる。  
〔設問の概要〕  
「徒然草」の中の語句の訳を抜き出す。  
〔改善策の例〕  
古典の易しい現代語訳や古典について解説した文章を用いたり、関連する本や文章等を紹介したり、音声や映像メディアを活用したりするなど指導上の様々な工夫が考えられる。

## **国語 B** ～ 基礎的・基本的な知識・技能を活用することができるかどうかをみる問題

### <全国と比べて成果が見られた設問>

1一 登場人物の言動の意味を考え、内容を理解しているかどうかをみる。

〔設問の概要〕

本の紹介カードに書かれている登場人物の様子が具体的に表現されている箇所として適切なものを選択する。

- 1三 表現の仕方について捉え、自分の考えを書くことができるかをみる。

〔設問の概要〕

比喩を用いた表現に着目し、感じたことや考えたことを書く。

- 3一 集めた材料を整理して文章を構成することができるかをみる。

〔設問の概要〕

下書きについての説明として適切なものを選択する。

### <全国と比べて課題が見られた設問>

- 2三 相手の反応を踏まえながら、事実や事柄が相手に分かりやすく伝わるように工夫して話すことができるかどうかをみる。

〔設問の概要〕

スピーチの内容を聞き手からの意見に基づいて直す。

〔改善策の例〕

実際にスピーチなどをする場面では、聞き手から質問したり、内容や伝え方について助言し合ったりする場を設けることで、表現の仕方や聞き方を互いに学び合うことができる。その際、ICTを活用することも効果的である。例えば、スピーチをする様子を録画・録音して話し方などを振り返る学習活動が考えられる。

- 3二 目的に応じて必要な情報を読み取ることができるかどうかをみる。

〔設問の概要〕

太宰治と他の作家との関係を書き直したものとして適切なものを選択する。

〔改善策の例〕

得た情報の中から何をどのように引用すればよいのかを判断したり、情報と情報の関連を考え、再構成して示したりする学習活動が考えられる。その際、基となる情報が正しいものであるかどうかや、目的に応じた示し方になっているかどうかなどについて確認するように指導することが大切である。

- 3三 必要な情報を集めるための見通しをもつことができるかをみる。

〔設問の概要〕

アンケートをとる対象と質問内容、その質問についての回答を基にした内容を載せることで興味をもってもらえたと考えた理由を書く。

〔改善策の例〕

情報を集める際は、小学校での学習を踏まえ、パンフレットやリーフレット、雑誌、新聞を利用したり、関係する人々にインタビューやアンケートを行ったりするなど、適切な方法を選択するように指導することが大切である。その際、集める情報の内容や整理の仕方だけでなく、その情報を示すことによって、どのような効果が期待できるのかなどについても見通しをもつて行うことが大切である。

## **数学A** ～ 基礎的・基本的な知識・技能が身に付いているかどうかをみる問題

### <全国と比べて成果が見られた設問>

- 3(3) 二元一次方程式の解の意味を理解しているかどうかをみる。

〔設問の概要〕

$x+y=2$  の解の意味について選ぶ。

- 5(1) 空間における直線と平面の平行について理解しているかどうかをみる。  
 [設問の概要]  
 直方体において、与えられた辺に平行な面を書く。
- 8 命題の仮定と結論を区別し、与えられた命題の仮定を読み取ることができるかどうかをみる。  
 [設問の概要]  
 事柄「 $\angle ABD = \angle CBD$ 、 $\angle ADB = \angle CDB$ ならば、 $AB = CB$ である。」の仮定をすべて書く。
- 11 与えられた一次関数の表において、変化の割合の意味を理解しているかどうかをみる。  
 [設問の概要]  
 変化の割合が2である一次関数の関係を表した表を選ぶ。

<全国と比べて課題が見られた設問>

- 4(3) 扇形の弧の長さを求めることができるかどうかをみる。  
 [設問の概要]  
 半径が5 cm、中心角が $120^\circ$ の扇形の弧の長さを求める。  
 [改善策の例]  
 扇形の弧の長さや面積を求めることができるようにするために、扇形を円の一部分として捉え、弧の長さや面積がその中心角の大きさに比例することを確認する場面を設定することが考えられる。
- 6(1) 錯角の意味を理解しているかどうかをみる。  
 [設問の概要]  
 錯角の位置にある角について正しい記述を選ぶ。  
 [改善策の例]  
 2直線に1直線が交わってできる角の位置関係について理解できるようにするために、2直線に1直線が交わってできる8つの角で、互いに同位角や錯角の関係になっている角を見いだす活動を取り入れることが考えられる。
- 10(3) 与えられた反比例の表において、比例定数の意味を理解しているかどうかをみる。  
 [設問の概要]  
 反比例の表から比例定数を求める。  
 [改善策の例]  
 比例、反比例の比例定数の意味を理解できるようにするために、比例について、 $a$ を比例定数として、 $y = ax$  または、 $y/x = a$  という式で表される関係であること、反比例について、 $a$ を比例定数として、 $y = a/x$  または  $xy = a$  という式で表される関係であることを確認する活動を取り入れることが考えられる。
- 14(1) 範囲の意味を理解しているかどうかをみる。  
 [設問の概要]  
 反復横とびの記録の範囲を求める。  
 [改善策の例]  
 範囲の意味を理解できるようにするために、範囲とは、資料の最大値と最小値との差であることを確認した上で、資料の散らばりの程度を捉える活動を取り入れることが考えられる。



## 数学 B ～ 基礎的・基本的な知識・技能を活用することができるかどうかをみる問題

### <全国と比べて成果が見られた設問>

- ②(2) 与えられた説明の筋道を読み取り、事象を数学的に表現することができるかどうかをみる。  
〔設問の概要〕  
六角形を $n$ 個並べて6本ずつ囲んだときに、2回数えているストローを $n$ を用いた式で表す。
- ③(1) 与えられた表やグラフから、必要な情報を適切に取り出すことができるかどうかをみる。  
〔設問の概要〕  
与えられた表やグラフから、5月31日から4日経過したときに貯水量が2820万 $\text{m}^3$ であったことを表す点を求める。
- ③(3) 数学的な表現を事象に即して解釈し、的確に処理することができるかどうかをみる。  
〔設問の概要〕  
与えられた式から、 $a$ の変域に対応する $b$ の変域を求める。

### <全国と比べて課題が見られた設問>

- ①(2) 2つの図形の間接関係を回転移動に着目して捉え、数学的な表現を用いて説明することができるかどうかをみる。  
〔設問の概要〕  
四角形 $ABCD$ の模様が1回の回転移動によって四角形 $BEFG$ の模様と重なるとき、どのような回転移動になるかを説明する。  
〔改善策の例〕  
日常的な事象において、数量や図形に着目して見いだした事象の特徴を、数学的に表現できるようにするために、前提とそれによって説明される結論の両方を説明する場面を設定することが考えられる。
- ④(1) 筋道を立てて考え、証明することができるかどうかをみる。  
〔設問の概要〕  
2つの角の大きさが等しいことを、三角形の合同を利用して証明する。  
〔改善策の例〕  
事柄が成り立つ理由を筋道を立てて考え、証明ができるようにするために、結論を導くには何がわかればよいかを明らかにしたり、与えられた条件を整理したり、着目すべき性質や関係を見いだしたりする活動を取り入れることが考えられる。
- ④(2) 付加された条件の下で、図形の性質を用いることができるかどうかをみる。  
〔設問の概要〕  
 $\angle BAD$ と $\angle CBE$ が $20^\circ$ のとき、 $\angle BEA$ の大きさを求める。  
〔改善策の例〕  
事柄が成り立つ理由を筋道を立てて考え、証明ができるようにするために、結論を導くには何がわかればよいかを明らかにしたり、与えられた条件を整理したり、着目すべき性質や関係を見いだしたりする活動を取り入れることが考えられる。
- ⑤(2) 与えられた情報から必要な情報を選択し、事象に即して解釈することができるかどうかをみる。  
〔設問の概要〕  
全校生徒の女子の中で、「若菜さん」の1週間の総運動時間が長い方かどうかを判断するための根拠となる値として適切なものを選ぶ。  
〔改善策の例〕  
資料を整理して情報を読み取り、それを基に資料の傾向を判断できるようにするために、収集した資料を目的に応じた度数分布表やヒストグラムで表して分布の様子を捉えた上で、資料の傾向を表す代表値などのふさわしい値を検討し、それらを基に判断する場面を設定することが考えられる。

### 3 小学校の児童質問紙調査、中学校の生徒質問紙調査の結果の概要について

※ 「全国」とは全国の児童生徒が回答した割合のことです。

( )は質問番号を示しており、質問事項は国立教育政策研究所のホームページで見ることができます。

#### ◆小学校の児童質問紙調査の結果の概要について

＜全国と比べて望ましい傾向を示した項目＞

項 目	本市の児童の傾向
(6) 自分には、よいところがあると思いますか。	「当てはまる」という割合が高い。
(7) 友達の前で自分の考えや意見を発表することは得意ですか。	「当てはまる」という割合が高い。
(8) 友達と話し合うとき、友達の話や意見を最後まで聞くことができますか。	
(9) 友達と話し合うとき、友達の考えを受け止めて、自分の考えを持つことができますか。	
(29) 家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか。	「している」という割合が高い。
(30) 家で、学校の宿題をしていますか。	
(33) 学校に行くのは楽しいと思いますか。	「そう思う」という割合が高い。
(36) 学級会などの話し合いの活動で、自分とは異なる意見や少数意見のよさを生かしたり、折り合いをつけたりして話し合い、意見をまとめていますか。	「そう思う」という割合が高い。
(37) 学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがありますか。	「当てはまる」という割合が高い。
(38) 先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか。	「当てはまる」という割合が高い。
(39) 先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれますか。	「当てはまる」という割合が高い。
(45) 新聞を読んでいますか。	「ほぼ毎日読んでいる」「週に1～3回程度読んでいる」という割合が高い。
(52) いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。	「当てはまる」という割合が高い。
(53) 人の役に立つ人間になりたいと思いますか。	「当てはまる」という割合が高い。
(61) 5年生までに受けた授業の中で目標（めあて・ねらい）が示されていたと思いますか。	「当てはまる」という割合が高い。
(62) 5年生までに受けた授業の最後に学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思いますか。	
(63) 5年生までに受けた授業で扱うノートには、学習の目標（めあて・ねらい）とまとめを書いていたと思いますか。	

＜全国と比べて努力を要する傾向を示した項目＞

項 目	本市の児童の傾向
(12) 普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビやビデオ・DVDを見たり、聞いたりしますか（勉強のためのテレビやビデオ・DVDを見る時間、テレビゲームをする時間は除く）。	「2時間より少ない」という割合が低い。

(13) 普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む）をしますか。	「2時間より少ない」という割合が低い。
(14) 普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしますか（携帯電話やスマートフォンを使ってゲームをする時間は除く）。	「2時間より少ない」という割合が低い。
(15) 学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む）。	「1時間以上」という割合がやや低い。

#### ◆中学校の生徒質問紙調査の結果の概要について

##### <全国と比べて望ましい傾向を示した項目>

項 目	本市の生徒の傾向
(1) 朝食を毎日食べていますか。	「している」「どちらかといえば、している」という割合が高い。
(7) 友達の前で自分の考えや意見を発表することは得意ですか。	「当てはまる」という割合が高い。
(8) 友達と話し合うとき、友達の話や意見を最後まで聞くことができますか。	
(9) 友達と話し合うとき、友達の考えを受け止めて、自分の考えを持つことができますか。	
(32) 家で、学校の宿題をしていますか。	「している」という割合が高い。
(40) 先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか。	「当てはまる」という割合が高い。
(41) 先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれますか。	「当てはまる」という割合が高い。
(45) 新聞を読んでいますか。	「ほぼ毎日読んでいる」「週に1～3回程度読んでいる」という割合が高い。
(54) いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。	「当てはまる」という割合が高い。
(63) 1、2年生のときに受けた授業の中で目標（めあて・ねらい）が示されていたと思いますか。	「当てはまる」という割合が高い。
(64) 1、2年生のときに受けた授業の最後に学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思いますか。	
(65) 1、2年生のときに受けた授業で扱うノートには、学習の目標（めあて・ねらい）とまとめを書いていたと思いますか。	

##### <全国と比べて努力を要する傾向を示した項目>

項 目	本市の生徒の傾向
(12) 普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビやビデオ・DVDを見たり、聞いたりしますか（勉強のためのテレビやビデオ・DVDを見る時間、テレビゲームをする時間は除く）。	「2時間より少ない」という割合が低い。
(13) 普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、	「2時間より少ない」という割合が低い。

携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む)をしますか。	
(14) 普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしますか(携帯電話やスマートフォンを使ってゲームをする時間は除く)。	「2時間より少ない」という割合が低い。
(15) 学校の授業時間以外に、普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む)。	「1時間以上」という割合が低い。

## 4 学力向上の取組について

今年度の全国学力・学習状況調査の結果から、本市の児童生徒においては、各教科で基礎的・基本的な知識や技能の定着が図られている状況が見られるものの、①根拠を明らかにして考える、②物事を関連付けて考える、そして、③考えたことを、条件に応じて、まとめ・表す、といった力を身に付けさせることや、家庭での学習習慣の確立を図ることなどが継続的な課題となっています。

このような成果と課題を踏まえ、名寄市教育委員会では、授業改善と望ましい生活のリズムの定着を「車の両輪」と位置付け、名寄市教育改善プロジェクト委員会を中心として市内の小・中学校が一体となった学力向上の取組をさらに推進してまいります。

### 【主な重点】

#### (1) 授業改善

思考力、判断力、表現力等を育むために、言語に対する関心や理解を深め、言語に関する能力の育成を図る上で必要な言語環境を整え、発表や討議、ノート記述、レポート作成などの言語活動を次の視点から充実を図ります。

- 授業の冒頭で目標(めあて・ねらい)を示す
- 児童生徒の様々な考えを引き出したり、思考を深めたりするような指導に努める
- 児童生徒の発言や活動の時間を確保して授業を進める
- 授業の最後に学習したことを振り返る活動を行う
- 問題の解き方や考え方がわかるようにノートにしっかり書く指導の充実を努める

#### (2) 指導方法・指導体制の改善

学習内容を確実に身に付けさせるために、学年ごとの到達目標を設定し、個別指導やグループ別指導、繰り返し指導、学習内容の習熟の程度に応じた指導など個に応じた指導の充実を図ります。

#### (3) 学習規律の徹底

授業を効率的に進め、児童生徒の自ら学ぶ態度を養うため、すべての小・中学校で全学級における一貫した学習規律の確立を図ります。

#### (4) 学習習慣の確立

テレビやDVD、テレビゲーム、携帯電話やスマートフォンにふれる時間を2時間以内に減らし、家庭学習の時間を60分程度確保する取組の充実を図ります。

(例：全国学力・学習状況調査の結果及び改善策について児童生徒・保護者への丁寧な説明、テレビゲームなどをする時間の縮減及び学年に応じた家庭学習の時間の確保、予習－授業－復習のサイクルの確立等)

#### (5) 学びに向かう集団づくり

自らを律する心を育てる生徒指導と学級が児童生徒の心の居場所となる学級経営に努めます。